

里庄町 -さとしょうちょう-



里庄町は岡山県の南西部に位置する面積約12㎢のコンパクトな町です。町の中央部を東西に国道2号、JR山陽本線、北部には山陽自動車道が通る交通利便性の高い町で、穏やかな瀬戸内の気候と自然災害の少なさから、製造業を中心とする多くの優良企業が立地しています。また、岡山市・倉敷市・広島県福山市などの都市圏に近く、都市機能も実感しながら生活できる住みやすい町です。



子どもの元気な声が響き

みんなの笑顔があふれるまち

実現のための4つの基本目標

1 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

子ども・子育て支援事業と連携し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでを総合的に支援できる体制を構築します。

また、男女がともに輝き、希望をかなえながら、十分な愛情を持って子育てができるまちづくりを進めます。

2 魅力あるまちをつくり、人口流入を促進する

住宅地の開発や居住環境の改善に努めるとともに、災害の少なさ、交通利便性の良さ、岡山・倉敷都市圏や福山都市圏に近接した立地環境、子育て環境や教育環境の良さ、通信・情報ネットワーク等の生活・社会インフラの充実等、総合的な住みやすさを活用し、魅力あるまちづくりを推進します。

3 地域の経済を振興し、安心して働けるようにする

地域経済の付加価値や生産性を継続的に向上させていくには、地域イノベーション等を通じた新産業の創出や既存産業の高付加価値化に対応できる有能な人材の確保が必要です。地域経済を支える若者の地元への就職や定着を促進するとともに、元気な高齢者や子育て期の女性等、潜在的な労働力人口の就労を促進します。

4 地域住民が活躍し、豊かな暮らしを実現するとともに、時代に合った地域社会を育む

一人ひとりが生きがいを感じながら暮らすことができる地域社会の実現をめざします。すべての町民が地域の暮らしを自分たちの手で良くしようとする、シビックプライドの取組を進め、様々な人々と交流し、つながりを持ち支え合うコミュニティの形成を図ります。

地域をまとめ率先して引っ張るリーダーを養成し「地域経営」の視点をもって活躍できる人材を育成します。

里庄町まち・ひと・しごと創生推進計画

地方創生に関連する事業への活用のため、企業版ふるさと納税による寄付を募集しています。
里庄町の特色のある事業は以下のとおりです！

母子保健DX化事業

子育てアプリを活用し、乳幼児健診の問診票や健康記録をデジタル化することで、保護者の負担軽減と健診の効率化を図ることができます。また、自治体が発信した情報が住民の手元に届きやすくなり、地域の新たなコミュニケーションの機会を増やしたり、成長記録の共有が簡単にできることから、夫婦、家族の子育てへの参加を促すことが期待できます。

★アピールポイント

保護者の負担軽減と事業効率化により、
一人ひとりに寄り添う支援の充実に繋がります。

基本目標 1



里ちゃん子育てアプリ

子育て世帯応援タクシー料金助成事業

妊婦さんまたは3歳以下の子どもがいる保護者を対象に、年間で最大3万円分のタクシーチケットを交付しています。

健診や通院等のために、タクシーを利用することができ、移動手段の不安や経済的負担を軽減する環境を整備することにより、安心して子どもを産み、子育てできるようにサポートします。

★アピールポイント

きめ細やかに移動できるタクシーで、
子育て世代のもしもの時をサポートします。

基本目標 2



子育て世帯応援タクシー

学校教育用電子黒板整備事業

ICT機器である電子黒板を小中学校の各教室に整備し、教育現場のデジタル化を推進します。従来の黒板と違い、板書を拡大表示したり、画像や動画で説明することで詳細な情報を伝えやすくなります。また、板書を保存し、後で見返すことができるため、児童・生徒の授業の理解向上に繋がります。そして、児童・生徒と教師がリアルタイムで共同作業ができ、対話的に授業を進めることができます。

★アピールポイント

他者との対話で考えを広げ、理解を深める
主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。

基本目標 2



電子黒板を使った授業の様子

防災・地域安全対策事業

消防団員の詰所となる消防機庫に、テレビと連動した災害情報伝達手段である「戸別受信機」を設置し、災害時の情報収集、情報伝達の迅速化、避難誘導などの初動体制の強化を図ります。

また、老朽化した小型可搬ポンプを計画的に更新し、消火活動の強化を目指します。そして、災害時に避難場所へ提供する非常用食料、ポータブル電源および充電用ソーラーパネルを購入して、避難者の安全・安心を確保します。

★アピールポイント

消防団員用資機材および避難所に必要な
設備を購入することで防災力の向上を図ります。

基本目標 4



消防団の訓練の様子

重点
施策里庄駅周辺バリアフリー化プロジェクト
基本目標 2福祉振興
まちづくり

総事業費

—

数値目標

—

現状・課題

大正9年に開業したJR里庄駅は、町内の移動手段と町外への移動手段を乗り継ぐ拠点、町外からの来訪者の玄関口として、重要な役割を担っています。

しかしながら、駅舎にはエレベーターやエスカレーターなどの昇降設備がなく、駅舎と反対側のホームに移動するためには跨線橋（こせんきょう）を渡る必要があるため、すべての人にとって利用しやすい駅であるとは言えない状況です。

高齢者や障がい者など幅広い方々に利用いただくためにも、里庄駅を中心としたバリアフリー化が必要であると考えます。



里庄駅の跨線橋

事業の目的・内容

平成18年6月に策定された「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、本町の交通の重要拠点である里庄駅およびその周辺のバリアフリー化の検討を行います。

高齢者、障がい者、妊産婦をはじめ、だれもが利用しやすい里庄駅を目指して、移動・施設利用時の利便性や安全性を向上させ、町内外の方々の里庄駅の利用促進を図るとともに、安全安心なまちづくりを行っていきます。

【具体的な取組について】

・里庄駅周辺地区バリアフリー基本構想策定

里庄駅および周辺地区において、公共交通機関、建物、道路などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するための基本構想を作成します。



JR里庄駅

お問合せ先

里庄町まち整備課（電話番号 0865-64-7216）

総事業費

4,849,000円

数値目標

観光入込客数 10,000人

現状・課題

観光資源の少ない里庄町では、新たに多くの観光客を呼び込むことは難しい状況にあります。さらに、一般国道2号玉島・笠岡道路の整備により、アクセスが向上する反面、まちの中心部で足を止めてもらう機会の減少が見込まれています。

事業の目的・内容

里庄町のブランドイメージを高めることにより、一時的な観光客や移住者に限らず、様々な形で町と継続的につながりを持とうとする「関係人口」を増やすことが重要です。そのため、スポット、グルメ、特産品など、里庄町の魅力を知って、訪れて、リピーターになってもらえるよう、以下の事業を実施します。

【具体的な取組について】

(1) 里庄町観光パンフレット・PR動画の作成

スポット、グルメ、特産品などをまとめた観光パンフレットを新たに作成します。さらに、パンフレットと連動したスマートフォン向けPR動画により、里庄町の世界にぐっと引き込みます。

(2) グルメプロモーション

広くカレーに関するグルメをまとめて発信する「里庄カレーなんとか」キャンペーンを実施し、グルメを提供する事業者とともに情報発信やイベントの企画を行います。

(3) 首都圏アンテナショップにおける里庄町PRフェアの開催

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」において里庄町PRフェアを開催し、特産品の物産展、ふるさと納税やPRなどを行います。



令和5年7月 里庄町PRフェア

お問合せ先

里庄町企画商工課（電話番号 0865-64-3114）